

高温対策資材研修会を実施しました！

～「バイオスティミュラント」ってなに？～

君津農業事務所改良普及課 令和7年9月24日発

昨年の夏季の異常高温により、キャベツやレタスなどの露地野菜において、定植後の枯死や生育不良が頻発し、深刻な問題となりました。君津農業事務所では7月31日、近年注目を集めるバイオスティミュラント資材（以下 BS 資材）の効果的な活用方法を学ぶ研修会を開催したところ、生産者や関係機関の担当者など24名の出席がありました。

当日は農業事務所から、BS 資材の基本的な仕組みや期待される効果についての説明を行った後、4種類のBS 資材について、各メーカーの講師から講義がありました。参加者からは「どのタイミングで使うべきか」「他の資材との併用は可能か」など、実践的な質問が多数寄せられ、関心の高さがうかがえました。また複数の生産者から、今後の試験導入に前向きな声も聞かれました。農業事務所では今後も研修会の開催等を通じて、農業経営の改善に向けた支援を行っていきます。



研修会の様子



資材の試験も実施しています